

PRESS RELEASE

日本大学と早川町が、ケルヒャーの温水除草システム®を活用した、マダニやヤマビルを駆除する調査研究を実施

害虫の個体数を減らす有効な手法の確立を目指す

2023年3月29日

ケルヒャー ジャパン株式会社

清掃機器の最大手メーカー、ドイツ・ケルヒャー社の日本法人、ケルヒャー ジャパン株式会社（本社：神奈川県横浜市港北区、代表取締役社長：マーク・ヴァン・インゲルゲム）は、日本大学薬学部と早川町（山梨県）が進める、ケルヒャーの温水除草システム®を活用したマダニやヤマビル駆除の調査研究に協力をしています。



左上：地表、経過温度測定、左下：マダニ、ヤマビル、右：専用ノズル（WR 50）を使用してヤマビルを除去

マダニとヤマビルの危険性

マダニは山地や草地に生息し、死亡例のある感染症を媒介するケースがあり、ヤマビルは、吸血されると血が止まりにくく、かゆみを引き起こします。マダニとヤマビルはシカやイノシシなどに寄生して運ばれ、近年その分布域が拡大しています。日本各地で野生動物が増え人里や農地にも姿を現しマダニ等を運びます。草むらを散歩したペットだけではなく、人も吸血されることがあります。

ケルヒャーの温水除草システム®の活用

日本大学薬学部小方昌平助教、渡部浩平助教、小山由美専任講師らは、早川町と連携して温水の噴

KÄRCHER

PRESS RELEASE

射を利用したマダニとヤマビルを駆除する研究、およびその土壌環境への影響調査を進めています。ケルヒャーの温水除草システム®は、最適な一定の温度を維持する機能がある温水高圧洗浄機に、場所にあわせて均一な温水を効率よく散布できる専用ノズルで、薬品（除草剤、農薬）を使用しないため、人体や農作物、家畜に与える影響もなく、安全で環境に優しく害虫を駆除することができます。

実地検証内容

- ・温水除草システム®により吐出 45 度～95 度で温水を地表に撒き、経過温度測定
- ・上記温度でヤマビルの死滅状況を観察
- ・ヤマビルの群生している場所での駆除実験 など

ケルヒャー ジャパンは、高圧洗浄機のトップシェアメーカーとして、この新しい手法の確立に向けて、全力でサポートしてまいります。

使用製品



左：温水高圧洗浄機（HDS 4/7 U）、真ん中：専用ノズル（WR 50）

右：温水高圧洗浄機（HDS 1000 BE）

KÄRCHER

PRESS RELEASE



温水高圧洗浄機（HDS 1000 BE）に専用ノズル（WR 50）でスピーディに実施が可能

※ニュースリリースに記載された内容は発表時の情報です。
予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。